

ぐんまの道づくり

群馬県道路協議会

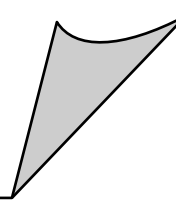


平成16年度
アウトカム・プラン



目次

1. 「平成16年度アウトカム・プラン」の策定について・1
2. 政策方針と成果指標の設定・・・・・・・・・・・・・・・・2
3. 指標ごとの目標と達成度・・・・・・・・・・・・・・・・3
4. 交通事故の削減・・・・・・・・・・・・・・・・4
5. 医療・福祉の向上・・・・・・・・・・・・・・・・8
6. 渋滞の解消・・・・・・・・・・・・・・・・10
7. 自転車走行空間の確保・・・・・・・・・・・・・・・・20
8. 産業・観光の振興・・・・・・・・・・・・・・・・23
9. 情報の公開・・・・・・・・・・・・・・・・29



1. 「平成16年度アウトカム・プラン」の策定について

はじめて一巡する成果主義の道路行政マネジメント

新たな道路行政への転換

○道路行政では、他の行政分野、公共事業分野に先駆けて、成果主義の行政マネジメントを推進しています。群馬県においても、昨年度に目指すべき成果を事前に宣言した「平成15年度ぐんまの道づくり アウトカム・プラン」を発表し、成果主義の道路マネジメントを開始しました。

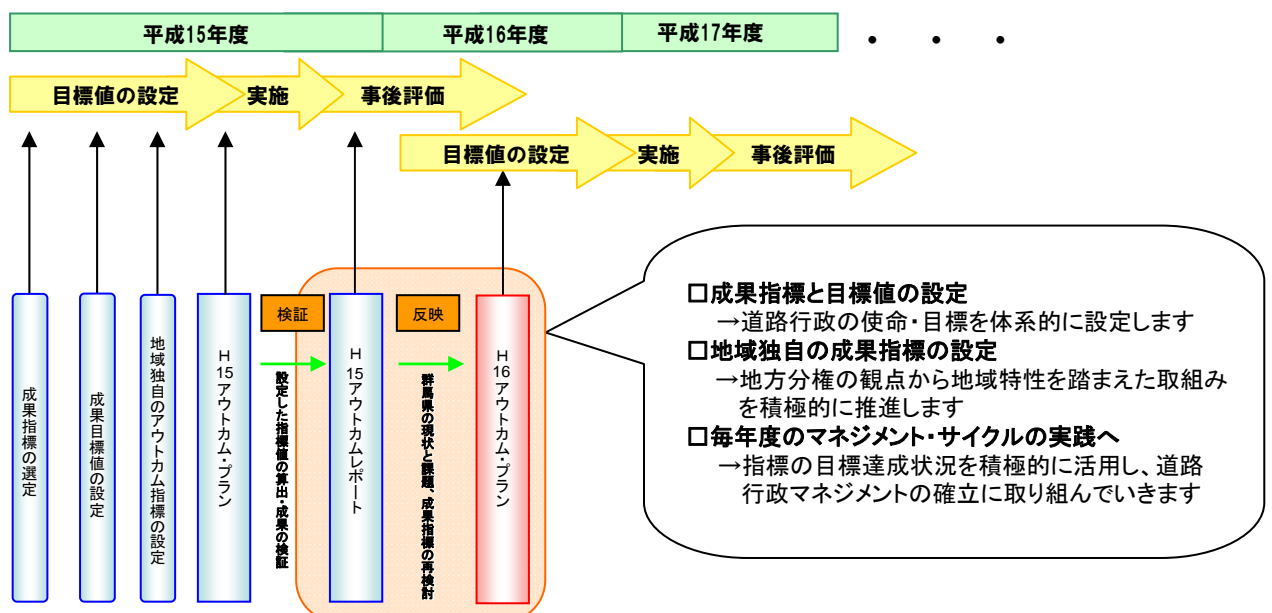
成果主義の道路行政マネジメントへの取り組み

○今年度(平成16年度)は、事前に数値目標を明確に打ち出し、事後に達成度を検証し、評価結果を次年度の行政運営に反映するという「マネジメント・サイクル」が一巡するはじめての年度です。
→【「平成15年度アウトカム・レポート・平成16年度アウトカム・プラン」の策定】

「平成16年度アウトカム・プラン」の策定

○群馬県では、県民の皆様の生活実感にあう道路行政への転換をめざし、地域の特性や課題、ニーズを踏まえて選定した成果指標にもとづく「平成16年度アウトカム・プラン」を策定しました。ポイントは以下の3点です。

- ①年度当初に成果指標の現況値および事業に伴う年度末の目標値を提示
- ②実施する施策・事業の内容および期待される成果を詳細に検証
- ③これまでの反省を今年度に活かす枠組み(マネジメント・サイクル)の導入



2. 政策方針と成果指標の設定

◆ 4つの方針と指標の選定 ◆

平成15年度「アウトカム・プラン」では、群馬県の道路行政が目指すべき成果を表す指標として、施策の特性に応じた9つの指標を設定し、4つの施策方針（政策課題）に応じて分類した上で、社会的背景（群馬県の課題など）や施策の必要性、指標の目標値を県民の皆様に表示しました。

平成16年度の道路行政の推進にあたっては、群馬県の現状と課題等を踏まえて1つの指標を追加。さらに3つの指標に変更を加え、目指す成果の数値目標達成に向けて取り組んでいきます。

方針	群馬県の課題	平成15年度 成果指標	指標に関する課題	設定	平成16年度 成果指標
県民の暮らしを守り、安心した暮らしを実現する道路整備	交通事故の削減	あんしん歩行エリアの整備	継続	あんしん歩行エリアの整備
		事故危険箇所の解消	継続	事故危険箇所の解消
			急増する死傷事故への対策を強化するため、中長期的な目標だけでなく、毎年度成果の検証が可能な指標を導入する	新規	死傷事故率の減少
	医療・福祉の向上	総合病院30分到達カバー圏域の拡大	継続	総合病院30分到達カバー圏域の拡大
	環境を保全し、豊かな生活を支援する道路整備	渋滞の解消	渋滞損失額の削減	渋滞損失を金額で把握することが難しいため、より分かりやすい指標とするように検討する	変更
渋滞箇所の解消			継続	渋滞箇所の解消
自転車走行空間の確保		サイクリングロード整備率	継続	サイクリングロード整備率
地域の自立と個性を守る道路整備	産業・観光の振興	幹線交通30分乗り入れ圏域の拡大	継続	幹線交通30分乗り入れ圏域の拡大
		規格の高い道路の利用の向上	毎年度成果の検証が可能な指標に変更する	変更	規格の高い道路の利用の向上※
情報の公開		ホームページアクセス数	群馬県道路関係課ホームページへのアクセス件数を指標として追加する	変更	ホームページアクセス数

※規格の高い道路を利用する割合は、昨年度は指標の算出に「平成11年度道路交通センサス」の結果を用いていましたが、今年度より国土交通省がトラフィックカウンタなどのデータから毎年度算出する数値を用いることとします。

3. 指標ごとの目標と達成度

群馬県の現状から見た課題に対して必要な取り組みを進める場合、どのような成果が県民の皆様にとってわかりやすい指標になるかを考慮し、以下の成果指標を設定しました。

	課題	成果指標[単位]	対象路線・範囲※1	H15実績値	H16目標値	指標	対応ページ
県民の暮らしを実現する道路整備	交通事故の削減	あんしん歩行エリアの整備[箇所]	直轄国道 一般国道 県道 市町村道	あんしん歩行エリアに指定された16箇所の整備により、平成19年までにエリア内の死傷事故件数の2割削減をめざす		指標 継続	P 4
		歩行者及び自転車の安全な通行を確保する「あんしん歩行エリア」の整備とそれに伴う死傷事故の削減を成果とします。					
		事故危険箇所の解消[箇所]	直轄国道 一般国道 県道				
	死傷事故率の減少[件/億台*0]	高速道路 直轄国道 一般国道 県道	141.6件/億台*0	死傷事故率の削減をめざす	新規 指標		
	医療の福祉	総合病院30分到達 カバー圏域の拡大[%]	高速道路 直轄国道 一般国道 県道	83.4%	83.6%に向上させ、約1,000人の方を新たに到達可能とする	指標 継続	P 8
生活を支援する道路整備	渋滞の解消	渋滞損失時間の削減[万時間/年]	高速道路 直轄国道 一般国道 県道	1,395万時間/年	1,369万時間/年	指標 変更	P10
		渋滞箇所の解消[箇所]	高速道路 直轄国道 一般国道 県道	19箇所	17箇所	指標 継続	
	自転車の確保	サイクリングロード整備率[%]	サイクリングロードネットワーク計画の対象路線	平成18年までに概ね完成 (平成15年度実績値:50.3%)		指標 継続	P20
個性を守る道路整備	産業・観光の振興	幹線交通30分乗り入れ 圏域の拡大[%]	高速道路 直轄国道 一般国道 県道	上信自動車道や北関東自動車道およびインターチェンジのアクセス道の整備により将来的には100%の達成をめざす		指標 継続	P23
		規格の高い道路の 利用の向上[%]	高速道路 直轄国道 一般国道 県道 市町村道	北関東自動車道の整備促進により大幅な向上をめざす		指標 変更	
情報の公開		ホームページアクセス数[件/年]	全国	【高崎河川国道事務所】 148,077件/年 【群馬県道路関係課】 6,164件/年	【高崎河川国道事務所・群馬県道路関係課】 前年度の2割増 (約185,000件/年)	指標 変更	P29

※1:表中の「対象路線」は以下のように分類しています
 高速道路:高規格幹線道路
 直轄国道:直轄国道(群馬県内では17・18・50号が該当)
 一般国道:補助国道(上記以外の国道が該当)
 県道:主要地方道・一般県道

※2:可住地面積とは、総面積から林野面積と湖沼面積を差し引いた居住可能な土地の面積のことを指します。

4. 交通事故の削減

H15実績値

安心歩行エリア：エリア内での死傷事故件数2割削減に向け**事業継続中**
事故危険箇所：対象箇所での死傷事故件数3割削減に向け**事業継続中**
死傷事故率：141.6件/億台^{キロ} **新指標**

H16目標値

あんしん歩行エリアの整備：指定を受けたエリアで継続的に事業を実施
事故危険箇所の解消：指定を受けた箇所継続的に事業を実施
死傷事故率：死傷事故率の減少をめざす

対策事業

あんしん歩行エリアの整備【16箇所のうち6箇所で事業を実施】
事故危険箇所の解消【対策が完了していない164箇所のうち130箇所で事業を実施】

業績計画(平成16年度の成果目標)

◇ あんしん歩行エリアの整備(16箇所)

あんしん歩行エリアに指定された16箇所のうち、6箇所で歩道整備等を進め、平成19年までにエリア内の死傷事故件数の2割削減をめざします。

◇ 事故危険箇所の解消(174箇所)

指定を受けた174箇所の中で、まだ対策が完了していない164箇所のうち130箇所において事業を実施し(今年度は1箇所が対策完了、9箇所が1部対策完了)、平成19年までに事故危険箇所での死傷事故件数の3割削減をめざします。

◇ 死傷事故率の減少

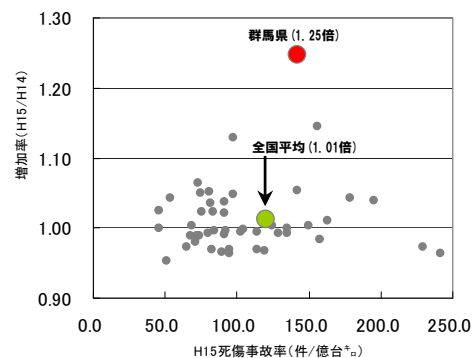
あんしん歩行エリアや事故危険箇所など、事故の多発する地点で交通安全対策を集中的に進め、死傷事故率の減少をめざします。

課題の検討

◇ 死傷事故率の増加率が全国1位

全国的にみても平成15年度の死傷事故率は前年度よりも増加しましたが、その中でも群馬県は25%増と、全国で最も増加率が高くなっており、早急な対策が必要とされています。

<都道府県別に見た死傷事故率の増加率(H14→H15)>



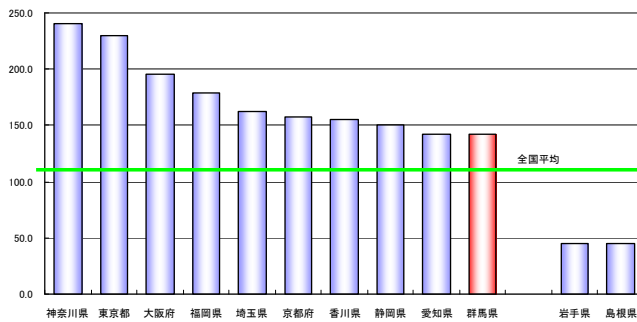
4. 交通事故の削減

②

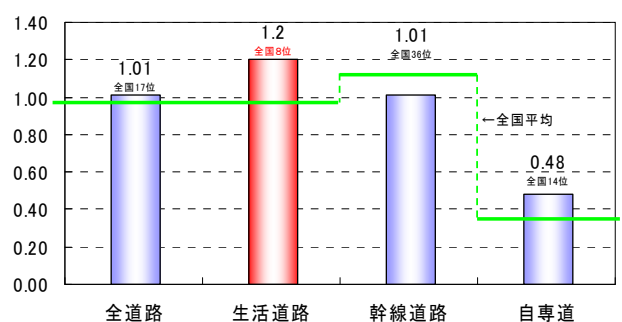
- ◇ 全国でワースト10に入る死傷事故率
- ◇ 生活道路に多発する群馬県の交通事故死者

- ・群馬県は、増加率だけでなく死傷事故率自体も141.6件/億台^{キロ}で、全国10位と非常に高い数値となっています。
- ・群馬県における交通事故死者の発生状況を道路の種類別に見ると、生活道路での割合が最も高くなっています。生活道路における交通事故死者率は他の都道府県と比較しても8位と高く、早急な対策が求められています。

<H15都道府県別死傷事故率(件/億台^{キロ})>



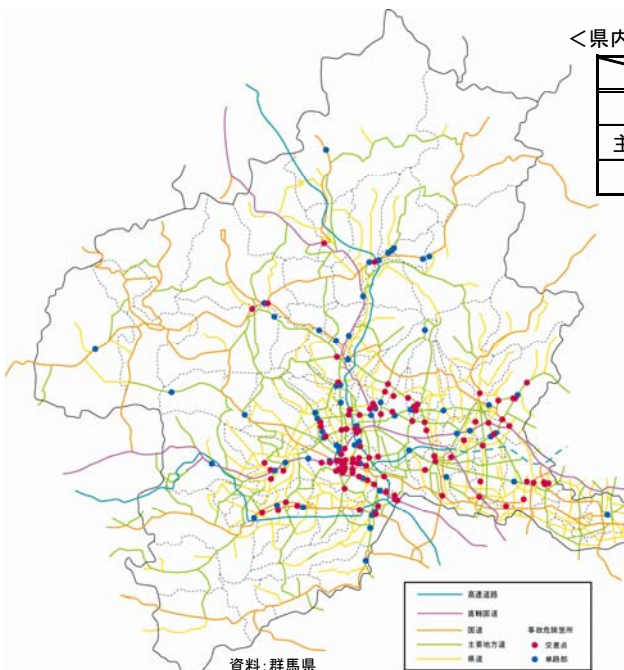
<道路種類別に見た群馬県の交通事故死者率(人/億台^{キロ})>



- ◇ 特定の箇所で集中して発生する交通死傷事故
- ◇ 歩行中・自転車利用中に多い交通死傷事故

- ・群馬県内には、交通事故が多発する「事故危険箇所」が174箇所指定されており、ここで多くの死傷事故が発生しています。
- ・群馬県における交通事故死者の内訳を見ると、41.6%が歩行中あるいは自転車乗車中に事故に遭っており、歩行者や自転車利用者の安全性の確保が求められます。

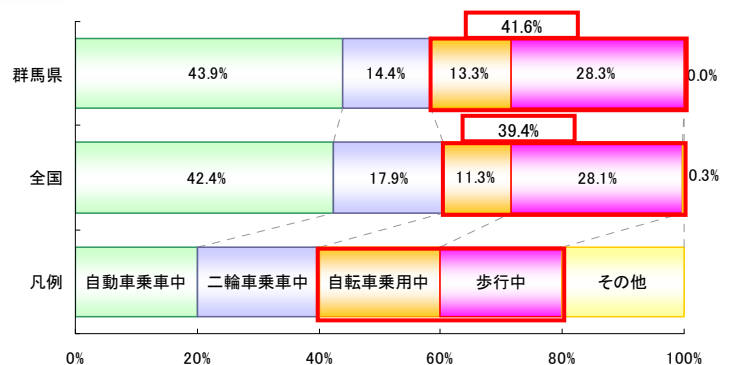
<群馬県内の事故危険箇所>



<県内事故危険箇所数174箇所の内訳>

	単路	交差点
一般国道	34	35
主要地方道	44	33
県道	20	8

<交通事故死者の状態別内訳(H13)>



対策事業

- ◇ あんしん歩行エリアの整備
- ◇ 事故危険箇所の解消

○あんしん歩行エリアの整備

歩行者及び自転車利用者の安全な通行を確保するため緊急に対策が必要な住居系地区又は商業系地区16箇所を「あんしん歩行エリア」として指定しました。

歩行空間や信号機、交差点の改良や歩行者・自転車を優先するゾーンを形成することにより、平成19年までに死傷事故件数を2割削減することをめざします。

<平成16年度に事業が予定されている、あんしん歩行エリアの整備>

地区名	主な事業箇所
JR前橋駅(北口・南口)地区	(主)前橋玉村線
	(主)前橋館林線
	(県)石倉前橋停車場線
高崎市東町地区	(国)354号
	(国)354号(BP)
	エリア内歩道
富岡市富岡地区	エリア内道路
安中市原市地区	エリア内交差点
	市道全般
沼田市沼田地区	市道沼田中央線
桐生市相生地区	(県)阿左美桐生線
	(県)相生停車場線
	相生町二丁目
	相生町五丁目

資料:国土交通省・群馬県



(主)前橋館林線
(JR前橋駅(北口・南口)地区)



エリア内歩道
(高崎市東町地区)

- 歩行空間の整備
- 路側帯の拡幅
 - 歩道、自転車道、幅の広い歩道、歩車共有道路の整備
 - 段差・勾配の解消、電線類の地中化



- 交差点の改良
- 右折車線の設置
 - 交差点の改良
 - 駐車スペースの確保
 - 違法駐車取締り

- 信号機等の整備
- 交通量等の情報に基づき、信号機を制御
 - LED式信号機、バリアフリー対応型信号機を設置
 - 高輝度・自発光式道路標識等の設置



- 歩行者・自転車を優先するゾーンの形成
- 最高速度規制
 - 歩行者自転車専用道路の規制
 - ハンパの設置



<あんしん歩行エリアのイメージ>

資料:国土交通省

4. 交通事故の削減

4

○事故危険箇所の解消

現在、群馬県内では死傷事故率が高かったり、死傷事故が多発している174箇所が「事故危険箇所」として指定されています。

この事故危険箇所について、交差点の改良、右折車線や道路照明の設置、道路標識や歩道の整備など、面的かつ総合的な死傷事故対策を講じていき、平成19年までに死傷事故件数を約3割削減することをめざします。

また、今年度については、対策が完了していない164箇所のうち130箇所で事業を実施し、1箇所が対策完了し、9箇所が一部完了します。

<今年度対策が(一部)完了する事故危険箇所>

○単路部

路線名	箇所名
17号	藤岡市立石611-1～藤岡市立石635
17号	高崎市下之城町527-1～高崎市下之城町488-1
17号	高崎市下小鳥町1268～高崎市下小鳥町1477
17号	沼田市岩本町29-1～沼田市岩本町179-1
18号	安中市原市406～安中市原市631-2
50号	伊勢崎市曲沢町～伊勢崎市赤堀鹿島町
足門前橋線	前橋市元総社町1301-2～前橋市元総社町2159

○交差点部

路線名	箇所名
17号	高崎市倉賀野町4535-1(倉賀野西交差点)
17号	高崎市下之城町179-1(下之城町交差点)
17号	利根郡月夜野町大字上津954-1(上津大原交差点)



(主)足門前橋線
(単路部)



国道17号(下之城町交差点)
(交差点部)

<群馬県内の事故危険箇所>



上記以外にも、120の事故危険箇所では276の対策事業が進められます。

— 高速道路	● 事故危険箇所
— 直轄国道	● 交差点
— 国道	● 単路部
— 主要地方道	
— 県道	

資料:国土交通省・群馬県

5. 医療・福祉の向上



H15実績値

総合病院30分到達カバー圏域：83.4%

H16目標値

総合病院30分到達カバー圏域の拡大：83.6%

対策事業

主要地方道中之条湯河原線 須川バイパスの供用 (利根郡新治村)

業績計画 (平成16年度の成果目標)

◇ 総合病院30分到達カバー圏域の拡大【83.4%→83.6%】

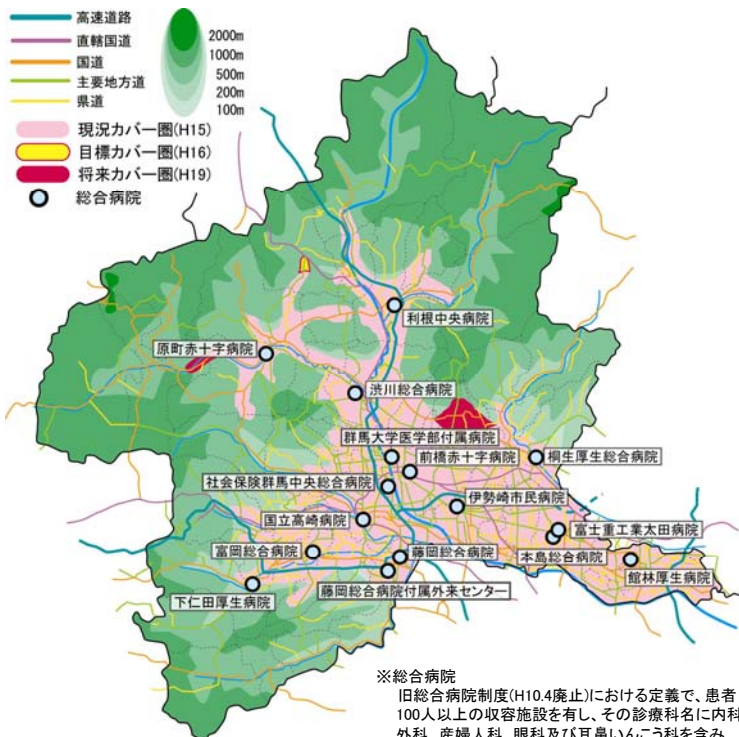
新たに約1,000人の方を総合病院に30分以内で到達可能とします。

課題の検討

◇ 山地部に多く残される未改良道路

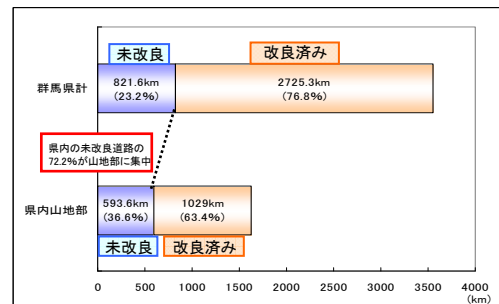
- ・県内に16箇所ある総合病院に30分以内で到達できる面積の割合は83.4%と、山間部を中心に約2割の地域で水準の高い医療サービスを受けることが困難となっています。
- ・県内山地部では道路整備が遅れており、県全体の未改良道路は総延長の約2割(23.2%：821.6km)ですが、そのうちの約7割(72.2%：593.6km)を山地部の道路が占めています。このため、日常生活における総合病院への通院に支障をきたすおそれがあります。

＜総合病院30分到達カバー圏域(現況)＞



資料：群馬県

＜山地部に多く残される未改良道路＞



資料：「平成11年度道路交通センサス」

＜幅員の狭い地域の幹線道路＞



(主)中之条草津線



(主)高崎様名吾妻線

5. 医療・福祉の向上

②

<総合病院30分到達カバー圏域を拡大する主な事業(平成19年度までの完了予定箇所)>

道路名	事業の内容	「総合病院30分到達 カバー圏域」が拡大する市町村
一般県道 宮城前橋線	新規路線整備 (前橋市)	前橋市・新里村
主要地方道 中之条湯河原線	須川バイパス整備 (新治村)	新治村
一般県道 林長野原線	バイパス整備 (長野原町)	長野原町・吾妻町
一般県道 林吾妻線	バイパス整備 (長野原町～吾妻町)	長野原町・吾妻町

平成16年度完了予定事業



(一) 林吾妻線バイパス(吾妻トンネル)



(主) 中之条湯河原線 須川バイパス
(平成16年度供用予定)

対策事業

◇ 主要地方道中之条湯河原線 須川バイパスの供用(利根郡新治村)

○ 主要地方道 中之条湯河原線(須川バイパス工区 L=2.05km : 利根郡新治村)

本路線の現道は幅員狭小及び線形不良のため交通に支障をきたしています。そこで、現道を迂回するバイパス整備により、総合病院30分到達カバー圏域の拡大を図ります。

本路線は平成16年度に供用予定であり、これにより新治村で約1,000の方が新たに総合病院に30分で到達ができるようになります。



現況の写真



工事の様子

6. 渋滞の解消



H15実績値

渋滞損失時間：1,395万時間/年 **新指標**

【平成15年度の指標】渋滞損出額：552億円/年

渋滞箇所数：19箇所

※渋滞箇所とは、平成10年度から実施されている「渋滞対策プログラム」において指定されているポイントのことで、群馬県では60箇所が指定されましたが、平成15年度末においてすでに20箇所が解消(対策事業が完了)、21箇所が緩和(対策事業が一部終了)されており、残る19箇所が未整備箇所として対策が進められています。

H16目標値

渋滞損失時間：1,369万時間/年 (1,395万時間/年より26万時間/年削減)

渋滞箇所：17箇所 (19箇所より2箇所削減)

対策事業

主要地方道桐生伊勢崎線錦桜橋架け替え

(桐生市：広沢町一丁目交差点への対策)

主要地方道伊勢崎深谷線拡幅 (伊勢崎市：北千木交差点への対策)

業績計画 (平成16年度の成果目標)

◇ 渋滞箇所(未整備箇所)における渋滞損失時間の削減【1,395万時間/年→1,369万時間/年】

(主)桐生伊勢崎線錦桜橋架け替えと(主)伊勢崎深谷線の北千木交差点の拡幅により、渋滞箇所(未整備箇所)で発生する渋滞損失時間を26万時間/年削減することをめざします。

◇ 渋滞箇所の解消【19箇所→17箇所】

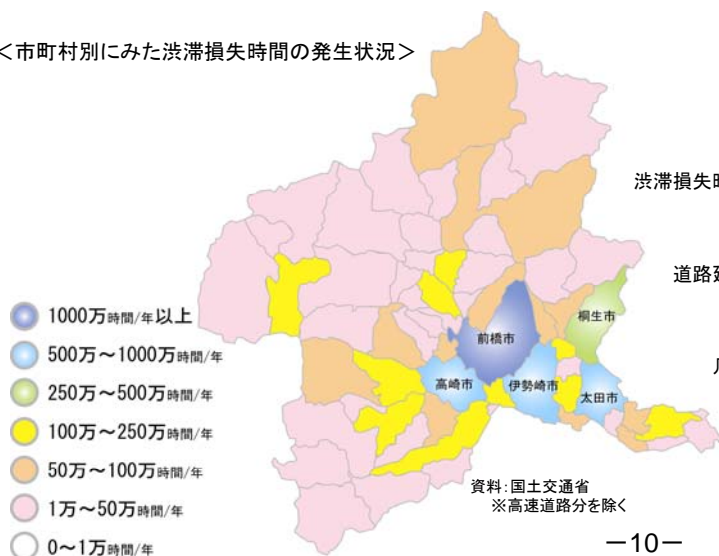
広沢町一丁目交差点(桐生市)と北千木交差点(伊勢崎市)の2箇所の渋滞箇所(未整備箇所)で渋滞の解消を図ります。

課題の検討

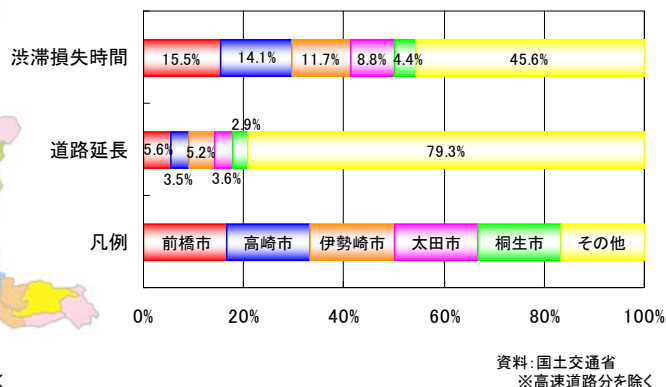
◇ 県内の各地、特に地域の中心的な都市で多く発生する交通渋滞

- ・群馬県では、県内の各地で交通渋滞に伴う損失が発生しています。その中でも特に前橋市、高崎市、伊勢崎市、太田市、桐生市など人口が10万人を越えるような地域の中心的な都市での渋滞が深刻な状況となっており、早急な対策を図る必要があります。

<市町村別にみた渋滞損失時間の発生状況>



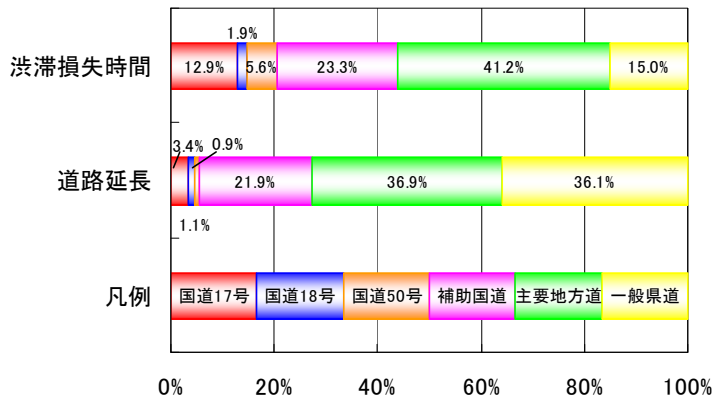
<市町村別に見た渋滞損失時間割合>



◇ 幹線道路である直轄国道で多く発生する交通渋滞

- ・ 幹線道路としての役割を果たす直轄国道で特に混雑が激しく、県内の道路総延長に占める割合が約5%である一方で県全体の渋滞損失時間の2割以上が発生しています。
- ・ 県内の渋滞損失時間のうち、国道17号で発生する損失は12.9%、国道18号では1.9%、国道50号では5.6%を占めており、幹線道路としての役割を果たす直轄国道に容量を上回る交通が集中しています。

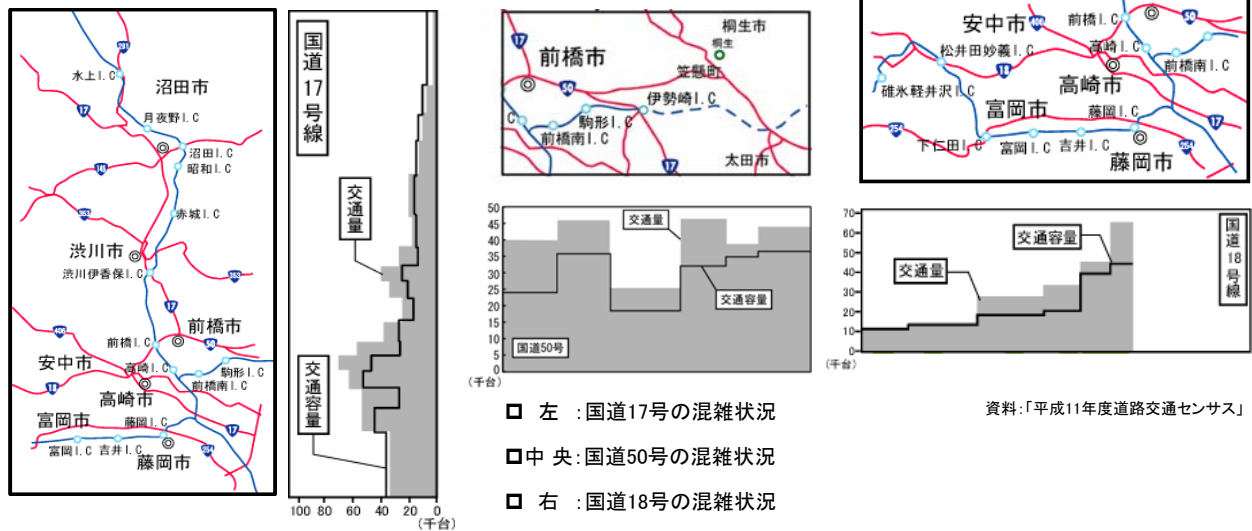
<路線別に見た渋滞損失時間>



直轄国道の渋滞の様子
国道17号(下之城町交差点)

資料:国土交通省
※高速道路分を除く

<直轄国道の混雑状況(交通容量に対する交通量)>



6. 渋滞の解消

③

<群馬県内未整備渋滞箇所一覧>

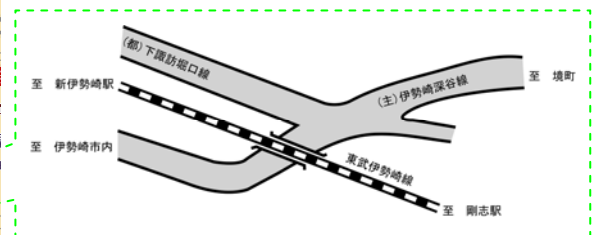
番号	主要渋滞ポイント	路線名	対策事業	H16年度の事業実施
1	高松町交差点	(国)17号	聖石橋架替(高崎駅観音山線) (国)17号高松立体 (国)354号伊勢崎街道踏切除去 (主)高崎浪川線4車化踏切除去	○ ○ ○ -
2	若松交差点	(国)17号	聖石橋架替(高崎駅観音山線) (国)17号高松立体	○ ○
3	蕨交差点	(国)50号	北関東自動車道(伊勢崎以東)	-
4	浜川交差点	(主)前橋安中富岡線	(一)箕部坂鼻線箕部バイパス整備	-
5	川内交差点	(国)254号	川内交差点改良 (国)254号バイパス整備	○ ○
6	高林交差点	(国)354号	(国)354号バイパス整備(大泉邑楽) (国)354号(太田バイパス) (都)小舞木寄木戸線 (一)太田大泉線バイパス整備(東毛幹線(大泉工区)) (一)太田熊谷線バイパス整備(東毛幹線(太田工区))	○ ○ ○ ○ ○
7	広沢町一丁目交差点	(国)122号	錦桜橋架替	○(完了予定)
8	金井南交差点	(主)浪川吾妻線	(都)中村上郷線	○
9	北千木交差点	(主)伊勢崎深谷線	(主)伊勢崎深谷線拡幅 (国)17号上武道路(埼玉群馬県境~(主)前橋大間々桐生線) 東武伊勢崎線踏切立体	○(完了予定) ○ ○
10	駒形町交差点	(主)前橋館林線	(主)前橋館林線拡幅(下大島駒形線)	○
11	三俣交差点	(主)前橋大間々桐生線	(国)17号上武道路(埼玉群馬県境~(主)前橋大間々桐生線) (国)17号上武道路((主)前橋大間々桐生線~(国)17号)	○ ○
12	小根木交差点	(主)前橋長津線	(都)新前橋駅川曲線4車化	○
13	東広町交差点	(主)高崎駒形線	(主)高崎浪川線4車化踏切除去	-
14	蓮雀町交差点	(主)高崎停車場線	(主)高崎浪川線4車化踏切除去	-
15	東本町十字路交差点	(国)407号	(一)太田大泉線バイパス整備(東毛幹線(大泉工区)) 太田駅周辺東武鉄道連続立体	○ ○
16	木崎交差点	(一)前田尾島線	木崎交差点改良	○
17	横町交差点	(国)354号	(一)太田大泉線バイパス整備(東毛幹線(大泉工区))	○
18	北群馬橋交差点	(国)353号	(国)353号踏切バイパス整備	○
19	糸井橋		関越自動車道 糸井橋側付加車線設置(上り線)	-

対策事業

- ◇ 主要地方道伊勢崎深谷線拡幅(伊勢崎市:北千木交差点への対策)
- ◇ 主要地方道桐生伊勢崎線錦桜橋架け替え(桐生市:広沢町一丁目交差点への対策)

○ 主要地方道伊勢崎深谷線拡幅 (L=1.0km:伊勢崎市)

伊勢崎市と埼玉県深谷市を結ぶ主要地方道伊勢崎深谷線の北千木交差点は、東武伊勢崎線との交差と道路線形の屈曲により年間15万時間の渋滞損失が発生し、主要渋滞ポイントに指定されています。このため、平成15年度までに鉄道側の高架化を実施し、さらに平成16年度には道路線形を改良することで渋滞損失時間を年間6万時間削減するとともに、渋滞ポイントの解消、緩和をめざします。



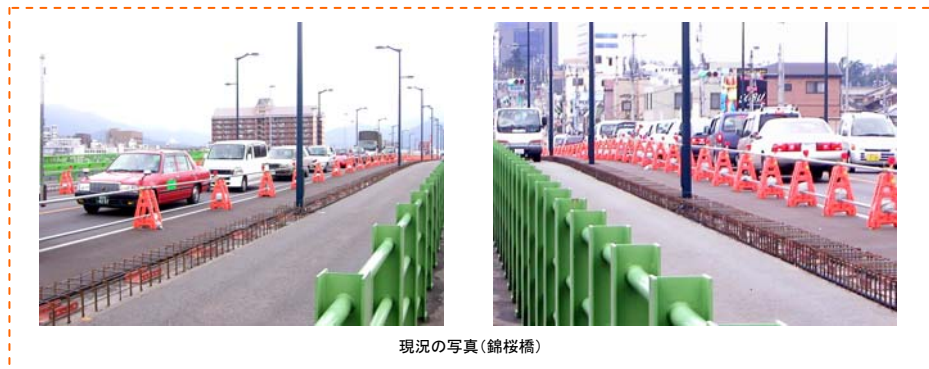
踏切除去前の様子



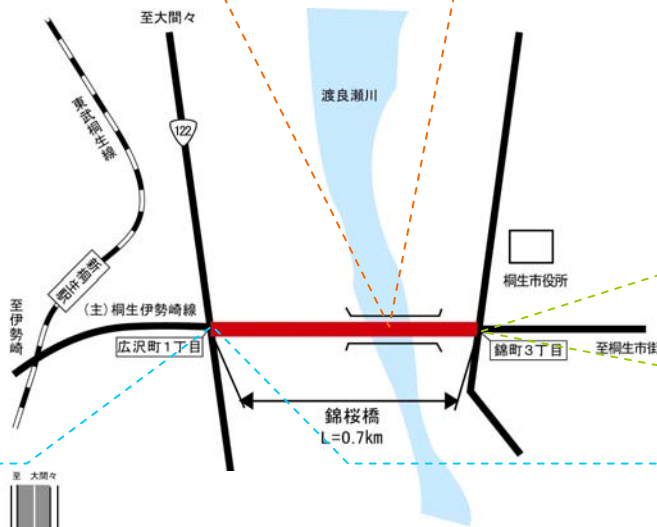
現況の様子

○主要地方道桐生伊勢崎線 錦桜橋架け替え(L=0.7km：桐生市)

桐生市中心市街地を経て伊勢崎市で国道122号線に接続する主要地方道桐生伊勢崎線の錦桜橋は大正14年に架橋され老朽化が進んでいるだけでなく、幅員も狭小なために年間90万時間の渋滞損失が発生するとともに、隣接する広沢町一丁目交差点が主要渋滞ポイントに指定されています。このため、平成16年度は錦桜橋の架け替え拡幅整備を行うことで渋滞損失時間を年間20万時間削減するとともに、渋滞ポイントの解消、緩和をめざします。



現況の写真(錦桜橋)



現況の写真(錦町3丁目)



広沢町1丁目交差点の混雑状況

現況の写真(広沢町1丁目)

渋滞の解消に向けた取り組み

- ◇ 高松立体(国道17号)
- ◇ 上武道路(国道17号)
- ◇ 高崎安中拡幅(国道18号)
- ◇ 昭和橋(国道122号)
- ◇ 鯉沢バイパス(国道353号)
- ◇ 伊勢崎街道踏切除却(国道354号)

高松立体(国道17号)

～ 県内ワースト1となる最大渋滞延長1,900mの早期解消 ～

区間	自:群馬県高崎市宮元町 至:群馬県高崎市並榎町
延長	1.6km
区分	3種1級
設計速度	80km/h
都市計画決定	平成12年4月



●事業のあらまし

一般国道17号の高崎市内で、烏川を渡河する聖石橋や和田橋に交通が集中することから、朝夕のラッシュ時をピークに激しい渋滞が生じています。

特に和田橋交差点は、平成9年の渋滞調査では最大渋滞長が1,900m(県内ワースト1)であり、主要渋滞ポイントに位置付けられています。

こうした中で、高松立体は、和田橋交差点の渋滞対策として、一般国道17号と主要地方道藤木高崎線とを立体化する計画であり、交差点の慢性的な渋滞の解消を図るとともに、河川整備及び烏川緑地整備と一体的に整備を進めていきます。



●平成16年度の事業

平成16年度は、並榎地区の用地買収、立体部の本体工事に着手する予定です。



現況



完成予想図

資料:国土交通省

上武道路(国道17号) ～ 渋滞の解消と地域の活性化を支える北関東期待の大規模バイパス ～

区間	自: 埼玉県熊谷市西別府 至: 群馬県前橋市田口町
延長	40.5km
区分	3種1級
設計速度	80km/h
都市計画決定	昭和46年3月 昭和58年4月 昭和61年8月 平成元年2月



●事業のあらまし

一般国道17号上武道路は、東京～前橋間の大規模バイパスの一環として、国道17号現道の渋滞解消と地域の活性化を図るために計画された埼玉県熊谷市西別府から群馬県前橋市田口町に至る延長40.5kmの大規模バイパスです。



7工区関連: 現況写真

●平成16年度の事業

平成16年度は、引き続き6工区の4車線化工事を進めるとともに7工区の埋蔵文化財調査及び改良の橋梁工事の促進、8工区の道路設計を実施する予定です。



富田第三跨道橋(H16.3)

荒川高架橋(H16.3)



資料: 国土交通省

高崎安中拡幅(国道18号)

～ 高崎市から安中市にかけての交通渋滞の緩和 ～

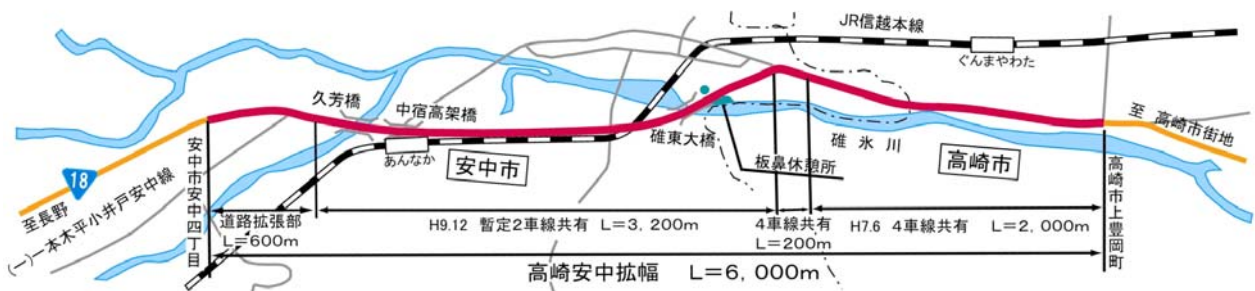
区間	自:群馬県高崎市内上豊岡町 至:群馬県安中市安中四丁目
延長	6.0km
区分	3種1級
設計速度	60.80km/h
都市計画決定	昭和59年5月



●事業のあらまし

高崎安中拡幅は、高崎市から安中市にかけての交通渋滞を緩和し、道路交通の安全確保を図ることを目的として計画された、延長6kmのバイパス並びに現道の拡幅事業です。

昭和58年度に事業着手し、現道拡幅部については、平成7年度に2.0kmの4車線供用を行いました。バイパス部は、平成4年度より工事着手し、平成9年12月に現道拡幅部の200mとバイパス部の3.4kmが2/4車線供用をしました。また、平成12年3月には碓東大橋橋詰の板鼻休憩所を供用しています。



●平成16年度の事業

平成16年度はバイパス部の板鼻～中宿高架橋起点間の4車線化のため、橋梁、改良工事を促進する予定です。

現況の渋滞状況



板鼻休憩所

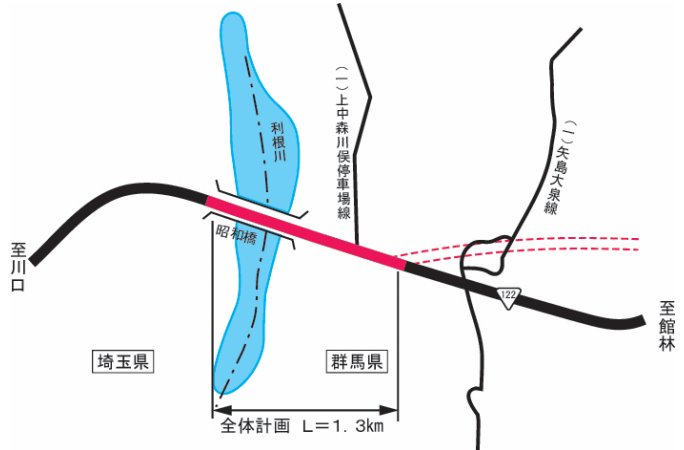


資料:国土交通省

昭和橋(国道122号)

～首都圏と繋がる幹線道路の交通渋滞の解消～

区間	自:群馬県邑楽郡明和町川俣 至:埼玉県羽生市上新郷
延長	1.3km(橋梁656m)
区分	3種2級(4車線)
設計速度	60km/h
期間	平成10～22年度



●事業のあらまし

一般国道122号は、関東内陸部と首都圏を結ぶ重要な幹線道路ですが、このうち群馬県と埼玉県境の利根川に架かる昭和橋付近は慢性的な交通渋滞が発生しており、これを解消するために昭和橋を含む1.3kmの4車線化整備を行います。



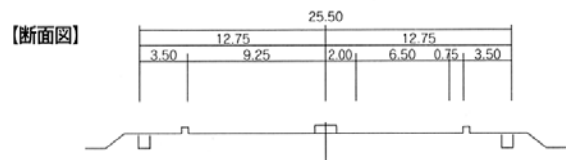
工事前の昭和橋



現況の進捗状況

●平成16年度の事業

平成15年度末時点で用地取得率91%、工事進捗率38%となっており、平成16年度は引き続き用地買収、橋梁上部工事、改良工事を進めています。

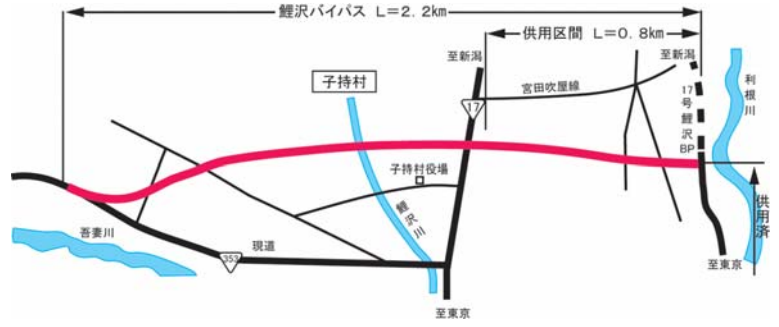


資料:群馬県

鯉沢バイパス(国道353号)

～ 吾妻地域への円滑な交通の確保 ～

区間	自:群馬県北群馬郡子持村白井 至:群馬県北群馬郡子持村北牧
延長	2.2km
区分	3種2級(2車線)
幅員	6.5(14.0)m
期間	昭和63～平成19年度



●事業のあらまし

鯉沢バイパスは、渋川市内と子持村内の一般国道17号及び一般国道353号の現道における交通渋滞の緩和を図るため、一般国道17号の鯉沢バイパスと合わせて計画されたバイパスです。

関越自動車道渋川インターチェンジから吾妻地域の観光地への円滑な交通の確保を図ることにより、地域の活性化を支援します。

平成8年度に0.8kmの部分供用を行いました。



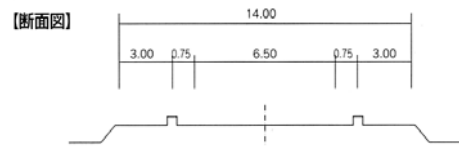
現道の状況



部分供用部の状況

●平成16年度の事業

平成15年度末時点で用地取得率97%、工事進捗率69%となっており、平成16年度は引き続き用地買収、埋蔵文化財調査を進めていきます。

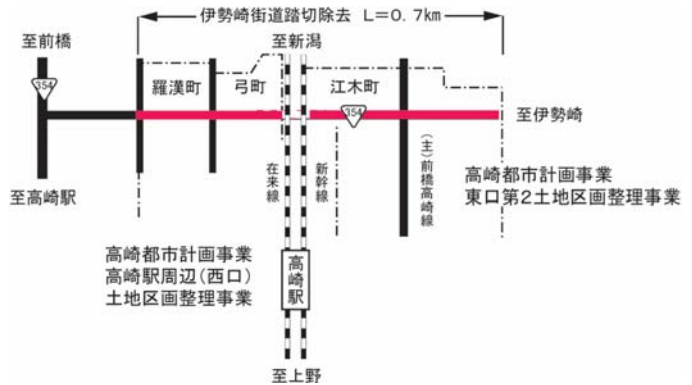


資料:群馬県

伊勢崎街道踏切除却(国道354号)

～ 高崎市街地の円滑な交通の確保 ～

区間	自:群馬県高崎市弓町 至:群馬県高崎市江木町
延長	0.7km
区分	4種2級(4車線)
設計速度	40km/h
期間	昭和63～



●事業のあらまし
 JR上越線等と平面交差する一般国道354号伊勢崎街道踏切は、1日の遮断時間が13時間にも及び、高崎市街地の交通に重大な影響を与えています。このため、アンダーパス方式による立体交差化事業に取り組んでいます。



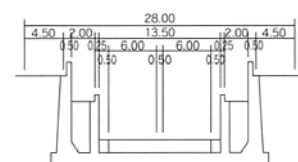
現道の状況



完成イメージ図

●平成16年度の事業
 平成15年度末時点で用地取得率83%、工事進捗率48%となっており、平成16年度は引き続き用地買収、線路下掘削工事を進めていきます。

【断面図】



資料:群馬県

7. 自転車走行空間の確保

H15実績値

サイクリングロード整備率：50.3% **事業継続中**

H16目標値

平成18年の「サイクリングロードネットワーク計画」完成に向け事業を継続

対策事業

「サイクリングロードネットワーク計画」の推進

業績計画（平成16年度の成果目標）

◇ サイクリングロード整備率の向上【平成18年の完成に向けて事業を継続】

平成18年までに「サイクリングロードネットワーク計画」の完成をめざします。

課題の検討

◇ 「サイクリングロードネットワーク計画」の推進

群馬県内には段差や急勾配、自転車と歩行者が分離されていない歩道、自転車駐輪場の未整備など、自転車の利用しにくい環境が多く残されており、「サイクリングロードネットワーク計画」の推進などにより、快適な自転車走行環境を実現することが課題となっています。

＜自転車の利用しにくい道路環境＞

歩行者と自転車が分離されていない歩道
(新町 町道103号線)



資料：群馬県

駐輪場の未整備による駅前の放置自転車
(前橋市 新前橋駅西口)



資料：群馬県

＜具体的な整備内容＞



バリアフリー化



自転車道のカラー化



案内標識の整備



自動車注意マーク



バス停に隣接した駐輪場の整備

対策事業

◇「サイクリングロードネットワーク計画」の推進

○「サイクリングロードネットワーク計画」による自転車通行環境の向上

群馬県では、通勤通学や健康増進、環境保護などの面から近年見直されている自転車の利用しやすい環境を整えるために「サイクリングロードネットワーク計画」を策定し、段差や急勾配の解消などのバリアフリー化、路面のカラー化などによる自転車と歩行者の分離、駐輪場や自転車歩行者専用道路の整備などを進めています。

「サイクリングロードネットワーク計画」では、平成18年までに整備の残された約740kmのサイクリングロードを整備してネットワークを完成し、自転車を利用しやすい郷土の実現を図ります。

<平成16年度主な完了予定事業>

路線名	箇所	工事概要
(主)前橋大間々桐生線	前橋市上泉町	歩道整備カラー化
(主)藤岡大胡線	前橋市	歩道整備カラー化
(一)倉賀野停車場線	高崎市倉賀野町	自転車歩行者専用道カラー化
(主)藤木高崎線	高崎市乗附町	自転車歩行者専用道カラー化
(主)前橋安中富岡線	高崎市北新波町～沖町	歩道改良及びカラー化
(主)高崎神流秩父線	高崎市寺尾町外	標識設置
(主)高崎渋川線	群馬町引間	自転車歩行者専用道カラー化
(主)藤岡大胡線 外	新町 5区	案内標識設置
(国)254号 旧道	富岡市七日市	歩道整備カラー化
(主)富岡神流線	富岡市内匠	歩道カラー化
(国)254号	甘楽町福島	歩車道境界ブロック工事
(一)太田境線外	太田市藤阿久町 外	標識設置

資料：群馬県

<平成16年度完了事業の事例>

(国)254号 旧道 (富岡市七日市)

事業前



事業後



資料：群馬県

◇「サイクリングロードネットワーク計画」の推進 —参考—

○ぐんまサイクルフェア Enjoy! Cycling! 2004

群馬県では、自転車のさらなる利用促進を広く県民の皆様に呼びかけるため「自転車でいこう」キャンペーンを平成16年5月から10月まで実施しました。

この一環として「身近な自転車をもっと生活に取り入れてもらいたい、そして自転車がものすごく自由な気分させてくれる乗り物であることに、もう一度気づいていただきたい」という趣旨で、「ぐんまサイクリングフェア」を開催しました。



開催日時

平成16年9月25日(土)

場所

前橋市石倉町:石倉城二の丸公園(中央大橋下流:利根川右岸)

フェア概要

○サイクルピクニック

○サイクリングスタンプラリー

○各イベント

- ・おもしろ自転車試乗
- ・FM公開生放送(FMぐんま公開生放送)
- ・お楽しみ抽選会(協賛各社からの商品を抽選でプレゼント)
- ・上州牛試食などの飲食コーナー
- ・自転車積載可能路線バス・タクシー展示コーナー



<フェアの一環として開催されたサイクルピクニック2004の様子>



資料:群馬県

8. 産業・観光の振興

H15実績値

幹線交通30分乗り入れ圏域：78.7%※ **事業継続中**
 規格の高い道路の利用率：10.0% **事業継続中**

H16目標値

幹線交通30分乗り入れ圏域の拡大をめざし事業を継続
 規格の高い道路の利用率向上をめざし事業を継続

対策事業

【以下の事業について整備を促進】

国道120号 椎坂バイパス / 主要地方道前橋長瀨線 藤岡工区
 一般県道 大原境線 / 上信自動車道
 北関東自動車道

業績計画 (平成16年度の成果目標)

◇ 幹線交通30分乗り入れ圏域の拡大(将来的には100%の達成)

: 上信自動車道や北関東自動車道および高速道路インターチェンジへのアクセス道路の整備により、将来的には100%の達成をめざします。

◇ 規格の高い道路の利用率の向上(大幅な向上)

: 北関東自動車道の全線供用により長距離を走行する交通を規格の高い道路に分担させ、高速道路と地域の幹線道路の適切な機能配分の実現をめざします。

課題の検討

◇ 既存の高速道路へのアクセス道の未整備

<「幹線交通乗り入れ30分構想」が達成されている市町村の割合※>

◇ 北関東自動車道および上信自動車道の未整備

- ・群馬県では「幹線交通乗り入れ30分構想」として、全ての市町村から新幹線駅または高速道路などのインターチェンジに30分以内で到達可能となる道路整備を進めています。
- ・現時点で到達が不可能な市町村について見ると、新幹線駅や既存の高速道路へのアクセス道が十分に整備されていないことや、上信自動車道および北関東自動車道が未整備であることが課題としてあげられます。



8. 産業・観光の振興

2

<「幹線交通乗り入れ30分構想」から見た群馬県内における道路整備の課題>

【上信自動車道の未整備】

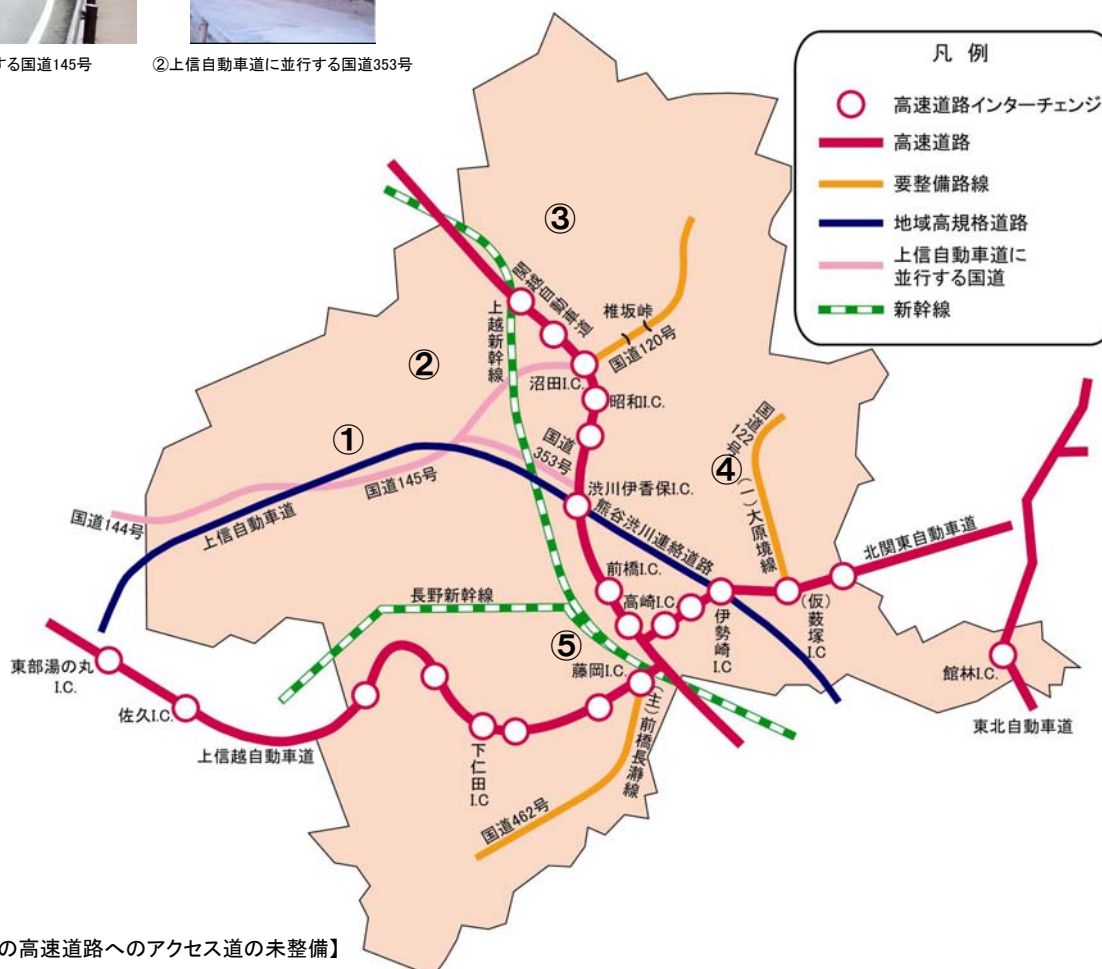


①上信自動車道に行する国道145号



②上信自動車道に並行する国道353号

道路名	事業の内容	「幹線交通乗り入れ30分構想」が新たに達成可能となる市町村
北関東自動車道	伊勢崎I.C.以東の延伸	桐生市・太田市・大泉町 (→北関東自動車道(仮)太田I.C.)
上信自動車道	全線供用	吾妻町・長野原町・嬬恋村・草津町・六合村 (→上信自動車道)
国道120号	椎坂バイパス整備(利根村～白沢村)	片品村 (→関越自動車道 沼田I.C.)
主要地方道 前橋長湊線	バイパス整備(藤岡市)	神流町 (→上信越自動車道 藤岡I.C.)
一般県道 大原境線	バイパス整備(藪塚本町)	東村・黒保根村 (→北関東自動車道(仮)藪塚I.C.)



【既存の高速道路へのアクセス道の未整備】



③国道120号 椎坂峠



④(主)大原境線

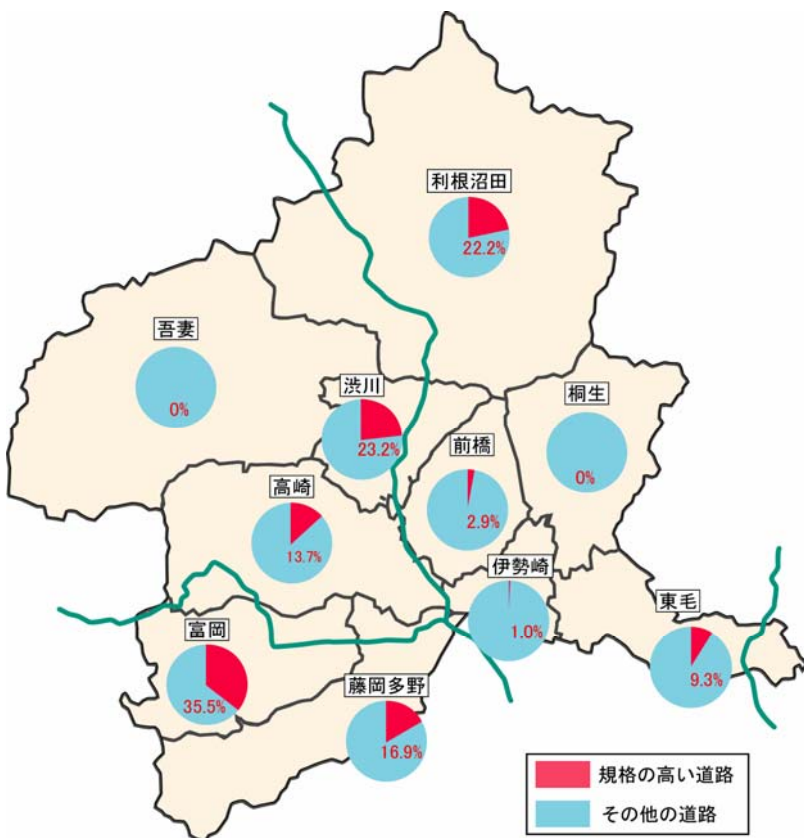


⑤(主)前橋長湊線

◇ 前橋、伊勢崎、東毛、桐生地方で低い規格の高い道路の利用率

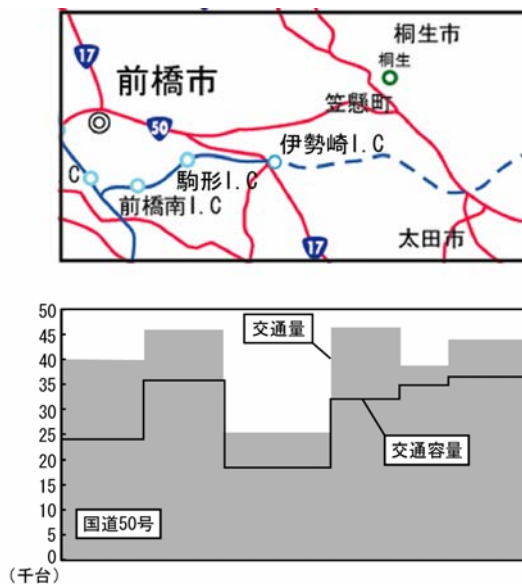
- ・北関東自動車道が部分供用となっているため、沿線地域である前橋、伊勢崎、東毛、桐生地方では規格の高い道路の利用率が低く、地域の幹線道路であり北関東自動車道と並行する国道50号には交通容量を上回る自動車が入り込んで深刻な混雑が発生しています。
- ・このため、北関東自動車道の全線供用により長距離を走行する交通を規格の高い道路に分担させ、高速道路と地域の幹線道路の適切な機能配分を実現する必要があります。

<規格の高い道路の利用率>



資料:「平成11年度道路交通センサス」
※北関東自動車道が部分供用される以前の数値

<国道50号における交通容量に対する交通量>



資料:「平成11年度道路交通センサス」

<東毛地方における渋滞>

国道354号 (太田市)



資料:群馬県

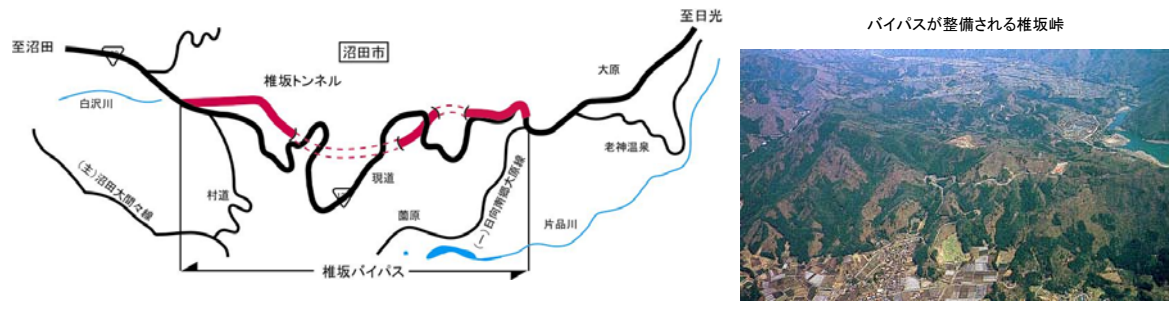
対策事業

【以下の事業について、整備を促進していきます】

- ◇ 国道120号 椎坂バイパス 【調査・設計など】
- ◇ 主要地方道前橋長瀬線 藤岡工区 【用地取得など】
- ◇ 一般県道 大原境線 【用地取得など】
- ◇ 上信自動車道 【計画・調査、一部区間で用地取得など】
- ◇ 北関東自動車道 【用地取得、盛土・橋梁工事など】

○国道120号 椎坂バイパスの整備促進(L=4.1km：沼田市)

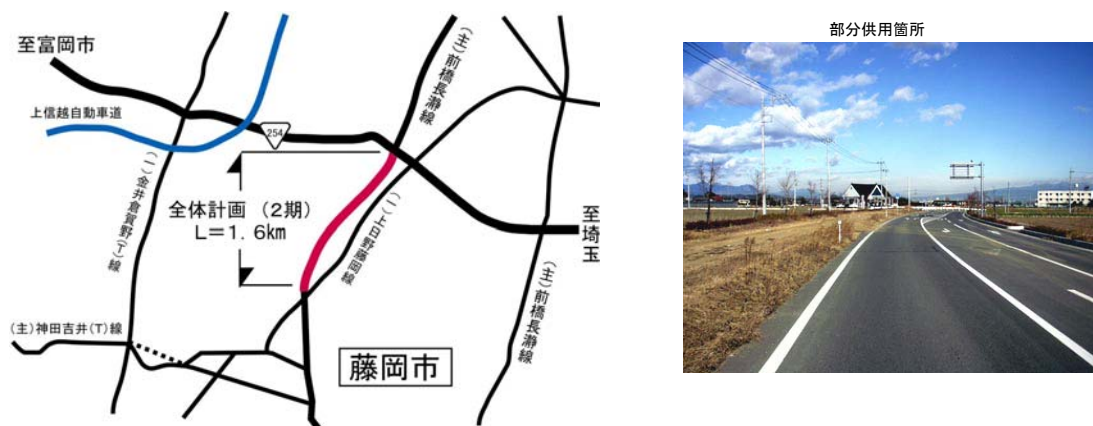
国道120号の椎坂峠は、山道特有の急カーブが連続し、特に冬期は積雪や凍結のため難所とされてきました。これらの解消を目的として椎坂トンネルを含むバイパスを整備することにより、片品村が関越自動車道のインターチェンジまで30分程度で到達することが可能となります。



○主要地方道前橋長瀬線の整備促進(藤岡工区 L=1.6km：藤岡市)

主要地方道前橋長瀬線は、前橋市から高崎市、藤岡市等を経由して埼玉県長瀬町に至る都市間連絡道路ですが、近年藤岡市街地において慢性的な交通渋滞が発生しています。

藤岡市内でバイパスを整備して渋滞の解消と交通の円滑化を図ることにより、神流町が上信越自動車道のインターチェンジまで30分程度で到達することが可能となります。



○一般県道大原境線の整備促進(L=2.6km : 藪塚本町)

本箇所は、北関東自動車道藪塚インターチェンジ(仮称)のアクセス道路として、藪塚インターチェンジの南側交差点から主要地方道桐生伊勢崎線までの間のL=2.6kmを整備するものです。整備後はインターチェンジのアクセス道路として機能し、東村および黒保根村が北関東自動車道のインターチェンジまで30分程度で到達することが可能となります。

インターチェンジ付近の完成予想図



○上信自動車道の整備促進

上信自動車道は、渋川市の関越自動車道・渋川伊香保インターチェンジ付近から東村、吾妻町、長野原町、嬬恋村を經由して長野県東御市付近に至る延長約80kmの地域高規格道路であり、本道路の整備により、吾妻町、長野原町、嬬恋村、草津町、六合村は「幹線交通乗り入れ30分構想」の達成が可能となります。

上信自動車道の概要



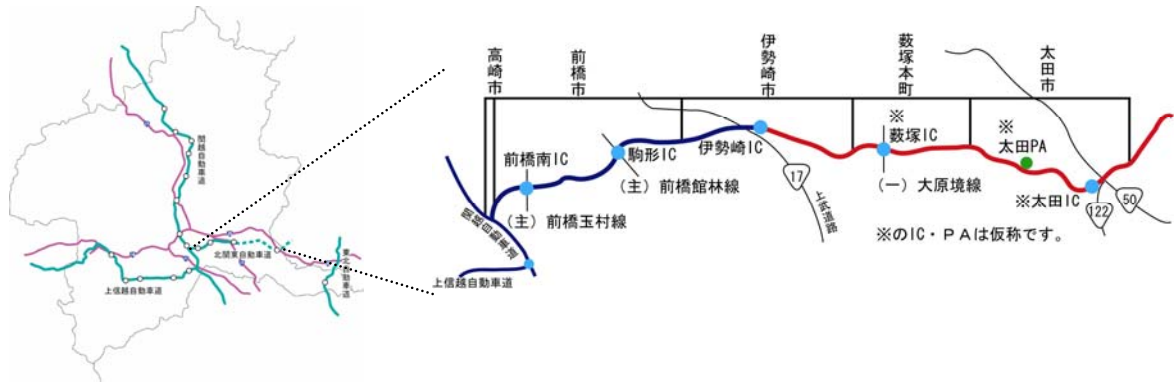
上信自動車道の一部となる
国道145号ハツ場バイパス



○北関東自動車道の整備促進

北関東自動車道(群馬県区間)の全線開通に向けて積極的に取り組み、群馬県内の高速道路十字軸の完成による高速道路の利用価値を高めることをめざします。

北関東自動車道により沿線地域における規格の高い道路の利用率が大幅に向上し、道路の適切な機能配分の実現が期待されます。



9. 情報の公開



H15実績値

ホームページアクセス数

: 148,077件 (国土交通省高崎河川国道事務所)

: 6,164件 (群馬県道路関係課※)

※群馬県県土整備局道路企画管理課・道路整備課

H16目標値

国土交通省高崎河川国道事務所・群馬県道路関係課

ホームページへのアクセス数：前年度の2割増(約185,000件)

対策事業

ホームページの充実 / ホームページへのアクセスしやすさの向上

業績計画(平成16年度の成果目標)

◇国土交通省高崎河川国道事務所・群馬県道路関係課

ホームページへのアクセス数の増加【前年度の2割増】

- ・コンテンツ等の充実を図り、国土交通省高崎河川国道事務所、および群馬県道路関係課ホームページへのアクセス数の増加を目指します。

課題の検討

◇情報発信の明確化、県民の情報ニーズの反映

- ・国土交通省高崎河川国道事務所のホームページについては、昨年度はリニューアル等の効果でアクセス数が大幅に増加しましたが、今後も県民の皆様が道路行政に対してどのような情報を求めているのか、誰もが分かりやすい情報を提供するにはどのような形で情報を提供すれば良いかなど、県民の皆様の情報に対するニーズを把握し、それらをホームページのコンテンツやサイトの構成、表現方法などさらなる充実に反映していく必要があります。さらに、インターネットを利用する中で、道路関係ホームページの発信する情報にアクセス可能となるよう、関係するホームページからのリンクや検索サイトへの登録等、ホームページへのアクセスを容易にすることも重要です。
- ・群馬県については、道路関係課のホームページに限定されるため絶対数が少くなりますが、国土交通省高崎河川国道事務所と同様、県民の皆様に判りやすくアクセスしやすい情報提供の場として充実を図っていくことが重要です。



対策事業

- ◇ ホームページの充実 (コンテンツ・サイトの構成・表現方法など)
- ◇ ホームページへのアクセスしやすさの向上 (リンクや検索サイトへの登録など)

○ホームページの充実(コンテンツ・サイトの構成・表現方法など)

気象情報や路線バスの進行状況(バスロケーションシステム)、ライブカメラ等といった情報の提示や携帯電話向けサイトの充実など、道路利用者のニーズに合致したサービスを提供するとともに、ホームページユーザーへのアンケートや各種イベントでの広報などを通じて利用者のニーズの把握に努め、双方向のコミュニケーションを活かしてサイトの構成や表現方法の向上を図っていきます。

○ホームページへのアクセスしやすさの向上(リンクや検索サイトへの登録など)

インターネットを利用する中で、より国土交通省高崎河川国道事務所、群馬県道路関係課のホームページの発信する情報にアクセスしやすくなるように、関係するホームページからのリンクや検索サイトへの登録等を進めていきます。



＜群馬県「ぐんまの道づくり」ホームページ
(県土整備局道路企画管理課・道路維持課)＞



＜国土交通省高崎河川国道事務所ホームページ＞